

ゆうかり放送委員会提供

ゆうかりに乾杯

第36回放送の概要 (2011年7月23日放送)

パーソナリティ

さくら (安本久美子)
タロウ (佃 由晃)
なかちゃん (中嶋邦弘)

コアラさんの地域瓦版

アコちゃん (三木文子)



ミキサー

門ちゃん (門田成延)
一ノ瀬悟

相談役

わだかん (和田幹司)

会計

小山俊則

(CM)「7つ 8つ 9つ とう といち」でおなじみの「十一の奈良漬」は、「灘の生一本」の酒粕に漬け込み仕上げた自慢の味です。食事の締めくくりに、サンドウィッチや巻寿司などにも御愛用ください。今日は、「十一の奈良漬」黒田食品さまの御協力を頂きました。

1. オープニング

明日ホームズスタジアム神戸で、なでしこジャパンのメンバーのうち7名が所属する INAC 神戸レオネッサとジェフユナイテッド市原・千葉レディースとの試合があります。13時半開門、15時キックオフの予定です。7人は海堀あゆみ(GK)、近賀ゆかり(DF)、田中明日菜(MF)、沢穂希(MF)、川澄奈穂美(FW)、大野忍(FW)、高瀬愛実(FW)である。

2. ゲストコーナー: 永田實さん (神戸高校 17 回生)

神戸高校では同窓会の呼び方は兵庫高校のように旧制中学からの通した呼び方(武陽会)はない。神戸高校と兵庫高校は兄弟校で、元は神戸中学で明治29年に生田川のほとりで生まれた。その後受験生が増えたため11年後(明治40年)に定員の倍を合格させ、合格者を集め鶴崎久米一校長が宇治川から西は新しく出来る高校へ行くよう話があった。生徒の一人がそのようなところに行きたくないと言ったところ校長はそのようなわがままを言う生徒はどちらでもとらないと言った。両校の校長は鶴崎先生が兼務していたと言われているが、正確には兵庫高校の名生先生から伺った話では二中の初代校長ではなく校長事務取り扱いであった。両校は略称では一中、二中と言うが間違われやすいが第一神戸中学校、第二神戸中学校というのが正しい。元は二つとも「神戸中学校」であったからである。

神戸中学は笹の池を埋めて作られた(現在の二宮町)。その後昭和13年に現在の場所に移った。山の麓にあることから上野が丘と呼ばれることがある。神戸高校と兵庫高校の違いを感じるところは、学校卒業後兵庫高校の名生先生を訪ねた時、体育祭の日であったが雨で授業に変わっており、その授業で話をしなさいと突然言われその時は自分の高校時代のことを話した。それは自分が中学3年の時の同級生で兵庫高校に入学した友達のこと、神戸高校の体育大会を見に来た友人はナップサックの中に入れてきた体操服を取り出して着替えをし棒倒しに参加すると言った。神戸高校にいる自分としてはその行動に驚いた。中学時代はおとなしかった友達が1年足らずでころっと変わっていた。これが両校の違いと感じた。東京の大学にあてはめれば早稲田が兵庫高校、慶応が神戸高校といったところでしょうか(下町と山手の違い)。女生徒の服装については兵庫高校は今自由であるが神戸高校はセーラー服を着用しており伝統がある。たまたま中日TV局が番組の取材で、金城学院高等学校のセーラー服が日本で一

番古いと言われているということを検証するためにやってきた。色々調べると福岡女学院のものが一番古いというのが分かった。

・・・ここで神戸高校の校歌を聴く・・・

ライフワークとして取り組んでいる「神高学」は、「神」を「じん」と読むが、これは神戸高校は「じんこう」旧制中学は「じんちゅう」と呼ぶところからきている。最近のはやりで「神戸学」といったものもある。1993年に神戸高校に戻り100年史編纂に携わり、編纂の過程で多数の情報、卒業生から派生していく情報、地域の情報、他校の情報がどんどん集まり始め、そのままにしておくのはもったいないと考えた。郷土や民俗芸能に興味を持つ者としては神戸高校のことについて発信していこうと考え、印刷物を作ったりしていたら「神高学」が出来るのではという人もおり、最近では「神高学講座」を3回ほど開催した。

神戸高校校歌	吉川幸次郎 詞	信時 潔 曲
一	わこうどは まなびやをたかきにぞおけ きみみずや 六甲のけわしきおいて わがにわと ながむるちぬのうみづらに 海彼のゆめをいざないて しおさいとおくみちくるを	
二	わこうどは むねのとをひかりにひらけ きみみずや 学問のきびしきめざし わがものと きわむる自然人文の 真理のつばさはばたけば わかきひとみのかがやくを	
三	わこうどは うたごえをみそらにみてよ きみみずや 人生のはじめにおいて わがととも きざむいのちのときどきを 歴史のいとにあざないて とうとからずやわれらあり	

100年史の「学校編」の編纂で苦労したのは資料のない時代があることで、例えば草創期の前に前史があった。神戸に中学が出来たのは神戸中学が最初ではなく、明治10年代に中学が出来ることがつづれまた出来るといったことを2回ほど繰り返している。神戸高校はその中学に繋がっているわけではないが前身的なものと考えられる。そのような事実は県の公館の県政資料室で知りえたものである。また神戸大学の図書館や研究室にも通い情報を入手した。また戦時中の資料もなかったので二中と合併した県一（兵庫県立第一神戸高等女学校）出身の方の日記をお借りした。当時は国語教育の1つとして日記を皆に書かせていた。その日記を大事に保管されていた方がいたので当時のことが良く分かるのでお借りし引用した。またオーラルヒストリーとして今生きている方から聞き取りをしておくことも非常に大事である。政治家からヒストリーを聴きとる研究者として神戸高校卒業生の飯尾潤さんという方がおられる。OBや先生方のうちから月に一人くらいをオーラルヒストリーの対象者としてやりたいと考えているが時間がないのが現状である。

100年史を編纂して良かったことは人の繋がりが出来たことである。また100年史が売れ残ったので全国の古い学校に送ることとし、送付状には先方の史料を頂きたい旨記載したところ多くの学校から送られてきた。このほか古本屋から購入したりして1300冊を超えるものが集まり公立高校としては日本ではトップの蔵書になっている。私立の場合は大学と連携しているところがあるのもっと多い蔵書になっている。

中等教育史をライフワークにしたいと思っているが、戦前の中学や高等女学校は皆特色があった。その特色は校長や先生方の個性が現れたところである。実業系の学校でもこの点については日本一と言ったりしていた。戦後も30年代位までは生き残りの先生がおられたので、国や県の方針はそのまま受け入れなくてもよいというような雰囲気はあった。今はシステムチックになってしまったので皆同じようになってきた。特色を持たせるようにと言うがそれより校長の在任期間をせめて5~6年にして現場の裁量に任せるようにするのがよいと思う。私学の場合は創設者の理念がある。今はアイデンティティとして求めてられている時代である。今自分がこのような仕事をしているのは神戸高校を宣伝したい、現役の生徒に何らかの形で還元したいと考えておりそのための財産を既に持っている。歴史的な財産を知ってもらうことにより生徒にアイデンティティを確立してもらいたい。私学はそのようなことを脈々と続けている。

3. 中ちゃんの「こぼれた話こぼれなかった話」

最近の特色ある公立高校教育について調べたところ我々の頃に比べ大きく変わっている。以前は普通科が中心であったが、大学が30年くらい前から情報というジャンルが生まれ、その後国際、福祉、環境、地域貢献、人間というように変わってきたことを受けて、高校も大学に合わせて特色ある教育をしなければならないということで、全体としては大学教育の方針の先取りという形で変化してきた。生徒の進路が広がってきていること、興味や関心に個別に対応していきたいということから単に文系、理系と言うだけでなく、また学校も地域の実態や生徒の希望にも合わせたいと考えた。専門学科を作る動きは昔からあり例えば農業科が作られた。その他スポーツや芸術、科学、環境など個性を生かせる学科も生まれた。最近では総合学科、中高一貫教育、単位制を採用する高校もあり、また専攻科に入ると国家試験の受験資格が得られるものもある。神戸市・近隣における特色ある専門学科としては、西宮（音楽）、明石（美術）、宝塚北（演劇）、舞子（環境防災）、神戸（総合理学）などがあり、類型としては総合科学（兵庫）、夢野台（教職）、情報（伊川谷）など高校教育は多彩になっている。

3. ゆうかり大好きコアラさんの地域瓦版

灘区制80周年記念事業協賛としてリニューアルされた神戸高校同窓会館において「灘区の学校の歴史」（幼稚園から大学まで）の講座が開催されます。9月から12月まで毎月1回開催され無料です。申し込み不要で定員は100名、毎回午前10時～11時30分です。問い合わせは神戸高校へ。10月までの第3金曜日に丸五市場において18時～22時まで「丸五アジア横町ナイト屋台」が開催されています。7月22日から9月9日まで毎週金曜日に鉄人前広場で「鉄人ビアガーデン」が始まっています。新長田南地区一帯の商店街において7月31日に13時～16時まで阿波のスター軍団徳島鳴門のうずしお連と神戸の大学生による阿波踊りの連が練り歩きます。

4. 来週のゲスト

来週のゲストは神戸常盤大学ボランティアセンターの戸谷富江さんにお越しいたします。

番組に対するご意見、ご感想はこちらまで：yuukarinikanpai@gmail.com